

- 10月30日、2号機の原子炉注水停止後の原子炉格納容器内の状況、テレスコ式装置の動作確認等を実施し、午前9時57分にデブリ把持作業を開始しました。その後、同日午後0時33分に燃料デブリの把持作業を完了しました。
- 今後、ガイドパイプの引き抜き作業を実施し、テレスコ式装置をエンクロージャ内へ戻します。その後、燃料デブリの線量を測定する予定です。
- 高線量下の作業かつ遠隔操作を伴う難しい作業は今後も継続します。安全を最優先に、着実に取り組んでまいります。



遠隔操作室の状況



燃料デブリを先端治具で把持した状況

福島第一原子力発電所構内：2号機燃料デブリの把持作業
(撮影日：2024年10月30日)